

ゲーム料金高額請求

子どもの遊び方に注意

(2014年12月2日掲載原稿)

子どもが通信機能のあるゲーム機で親のクレジットカードを勝手に使って、ソフトやアイテムを購入してしまった。請求金額が10万円を超えている一、そんな相談があります。

保護者がゲーム機の機能をよく理解し、適切な処置を行えば防げるケースもあります。

トラブルを避けるためにクレジットカードの管理が必要ですので、次のことを徹底してください。

- 1、子どもにクレジットカードを渡さない。
- 2、子どもが使うゲームの端末機にクレジットカードの情報を入力しない。
- 3、既にクレジットカード情報を入力している場合は、情報をいったん削除する。
- 4、ソフトなどの購入には現金やプリペイドカードを利用させる。

また、スマートフォンでも、アプリストアを利用するために入力したクレジットカードの情報が残り、以後、入力なしで利用できる場合があります。保護者の意図しないところで、登録したクレジットカード情報を子どもが利用し、アイテムを購入してしまった事例も報告されています。ご注意ください。

ゲーム機の「保護者制限機能」を利用することも大切です。ゲーム機によっては保護者による使用制限機能が用意され、ネットやオンラインショップへの接続を制限できる場合があります。取扱説明書を確認してください。

まず、子どもが利用しているゲーム機や、遊んでいるゲームの仕組みを確認するようにしましょう。